

**プラン名 用語を使って「わけ」を表現しよう！**

1 現状・課題（Rリサーチ）

	現在の姿	科学的なデータ（分析・原因）		
授業	論理的な思考をもとに、根拠や筋道を明確にして説明する力が弱い。	H30年度 全国学力・学習状況調査（4月）自校採点		
		教科	問題	正答率
		算数 ③（1）	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く。	20%
算数 ⑤（1）	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く。	20%		
基盤	題意や条件を読み取り、正しく答えるために必要な情報を選択する力が弱い。	H30年度 全国学力・学習状況調査（4月）自校採点		
		教科	問題	正答率
		国語 ③ 一	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する。	20%
国語 ③ 二	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】④最も心がひかれた一文とその理由の文章の中に入る内容を書く。	20%		

2 目標（Gゴール）

	目指す姿	科学的なデータ（目標）
授業	根拠を明確にして、自分の考えを持つことができる。	検証問題（記述式問題）にて50%
基盤	問われていることを捉え、既習の中から必要な情報を選択することができる。	検証問題（活用的問題）にて50%

3 仮説・具体的取組（Pプラン・Aアクション）

	取組	ポイント	指標
授業	・用語を使って、根拠を表現させる。	・児童に使わせたい用語を提示し、その用語を使って根拠を表現させる。	80%
基盤	・活用問題において、キーワードに線を引かせる。	・「わかっていること」「聞いていること」に全学年共通した様式の線を引かせる。	80%

4 実行・検証と評価（Dドゥ・Cチェック）

月	取組（何を、どのように）	検証（何で、いつ、誰が）	評価 （◎○△）
4	・取り組みの共通理解	□校内研修（全職員）	
5	・授業（用語を提示し根拠を表現させる。） ・ノート指導 （キーワードに線を引かせる。） （用語を使って根拠を記述させる。）	□検証授業（寺下） □児童のノート検証（月末、学担）	◎60% ○50%
6	・授業（用語を提示し根拠を表現させる。） ・ノート指導 （キーワードに線を引かせる。） （用語を使って根拠を記述させる。）	□検証授業（下田） □児童のノート検証（月末、学担）	◎70% ○60%
7	・授業（用語を提示し根拠を表現させる。） ・ノート指導 （キーワードに線を引かせる。） （用語を使って根拠を記述させる。）	□検証授業（殿垣内） □児童のノート検証（月末、学担） □検証問題（学期末、児童） □児童アンケート（学期末、児童）	◎80% ○70%